

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	バルカ県南シューナ郡の女性の経済的自立
(2) 事業内容	<p>(イ) 洋裁指導カリキュラム 日本品質基準の中級から上級レベルの洋服7デザイン手工芸品3デザインの合計制作数112点。</p> <p>(ロ) 教材の活用と修了式に向けた取り組み 日本全国から寄贈された着物生地を教材にし、洋裁訓練を実施した。事業後半に行われる修了式及びファッションショーに向け、ソフト面強化の授業を実施中。</p> <p>(ハ) マーケティング授業 定期的に行っているマーケティング授業から、生産管理とファッションショーなどのイベント企画について講義を行った。</p> <p>(ニ) ソフト面強化のためのワークショップ</p> <p>①「ミシンの構造と修理方法を学ぶワークショップ」 実施期間2012年5月6日～7日、参加者31名。(計画時想定人数20～30名)</p> <p>②「洋服の仕立てとボディフィッティングを学ぶワークショップ前半」 実施期間2012年5月27日～28日、参加者28名。(計画時想定人数20名～30名) ヨルダン国内からミシン修理屋と仕立屋講師を招聘、ファッションビジネス界を多角的に学んだ。</p> <p>(ホ) 品質評価 当該事業地で制作された完成品は日本で開催した「リボンウェアチャリティ展示即売会」に出品した。来場者に向けて、品質レベルが先進国で通用するかどうかの確認を行った。</p> <p>(ヘ) ヨルダン国内販路開拓 ヨルダン国内で作品の販売ルートを開拓、情報をマニュアル化しパソコンを利用した、実務レベルの生産管理法を指導した。</p> <p>(ト) 洋裁指導テキストブック 日本語・英語・アラビア語の教科書作成は事業後半に実施。</p> <p>(チ) 実践型授業 週に一度、ボディフィッティング授業を実施、仕立て直しが必要な洋服を教材として使用、仕立て直し方法や代金の算出方法の授業を行った。</p>
(3) 達成された効果	<p>申請書は事業完了時の指標を示しているため、現時点では正確な効果ではないが、指標に対する進捗は以下の通りである。</p> <p>裨益者 310名 (31名×10名、家族・親族の女性を対象) 直接裨益者数 31名</p> <p>(イ) 洋裁指導カリキュラム 申請書に記載されたデザイン数と制作枚数を順調に達成することが</p>

出来た。指導者による作品評価の結果、「高度な技術をクリアした作品」との評価を取得、当会からの仕立て代金収入が、前年同月対比4.6%増となった。

(ロ) 教材の活用と修了式に向けた取り組み

扱いの難しい正絹生地や着物の難生地を教材にし、上級レベルの作品制作を達成できた。作品ごとの検品理解度テストから7割の訓練生が作品の洋裁技術を理解したことが分かった。ファッションショー企画に関するマスマーケティング時、発言する女性が少なかった事業開始時期に比べ、多くの女性が質問やアイデアを発表するようになり、意識が高まったといえる。

(ハ) マーケティング授業

事業後半に行われるファッションショーのイベント企画・制作と商品の流通について講義を行い、そこでの学びを基に主体性が発揮される場面があり、肯定的な変化を及ぼす一助となった。

(ニ) ソフト面強化のためのワークショップ

①「ミシンの構造と修理方法を学ぶワークショップ」終了後のアンケートから、参加者の6割がミシンの構造と修理法を理解したと答えた。訓練中に実践を行うことにより、現在では主体的に修理を試みる姿が見られ、資機材の永続的維持が期待できる。

②「洋服の仕立てとボディフィッティングを学ぶワークショップ前半」終了後のアンケートから、6割の参加者が理解したと答えた。事業内容(ト)に併行し、習得した技術を実践したことにより専門的職業意識が向上した。訓練生の要望で、当該ワークショップ後半は実施時期を分けて事業後半に行うことにした。

(ホ) 品質評価

チャリティセール来場者に作品の品質を確認した結果、7割の来場者から高評価を得た。2割は中間的な評価で、1割の来場者からのアドバイスや注意点は、現地へフィードバックし改善を試みた。

(ヘ) ヨルダン国内販路開拓

アンマン市内の小売店から手工芸品の受注を獲得、指導作品の店頭販売が開始した。これは現地での販路開拓が成功し、訓練生の収入向上に貢献したことに値する。この成果を掲載したフライヤを作成し、ヨルダンで活動する在留邦人や現地住民に配り、活動の成果をアピール、今後も継続的な生産実現のためのサポートをしていく。

(チ) 実践型授業

5月実施の(ニ)-②ワークショップから習得した技術や知識を、週一度実施のボディフィッティング授業にて実演した。収入向上に作用するためには、生産性を上げる訓練を行うことが課題となった。

<p>(4) 今後の見通し</p>	<p>今後は申請書の計画に添って事業を継続し、活動を強化していく。</p> <p>1. 能力強化 裨益者の生産管理体制の確立、洋裁訓練活動の活性化に伴う能力強化に取り組む。申請書で計画しているテキストブック制作も事業内で完了させる。</p> <p>2. ワークショップ 商材の買い付けと生産管理担当の人材育成を目的とした校外学習を実施、社会的自立の意識を促進する。また、前半に行われた(二)-②ワークショップ後半も行い、最終的には商材買い付けから制作・納品、仕立屋独立のノウハウに至るまでのガイドラインを制定し、訓練成果の定着を促していく。</p> <p>3. コミュニティ参画型ファッションショーと修了式 当該事業3年間の集大成としてアンマン市内でファッションショー及び修了式を行う。訓練を受けた裨益者やカウンターパートのコミュニティらが企画・立案・運営を担い、指導制作された作品を披露し成果を問う。</p> <p>4. 事業譲渡にむけて カウンターパートと訓練生が主体的に活動を行えるよう、リーダーや担当者を決定し運営体制をカウンターパート側へ移行していく。当該事業内にて投入された資機材はすべてカウンターパートに譲渡され、研修施設にて洋裁技術訓練が継続可能な状態で事業を終結する。効率面にて課題はあるものの、最終的な体制整備を行いながら、他の活動へ影響を出さずに事業期間内に全活動を完了できる見込みとなっている。</p>
-------------------	---